

## 1. 化学品及び会社情報

### 化学品の名称(製品名)

化学品の名称	: Note Q に適合する鉱物繊維
EC 番号	: 926-099-9
別名	: Roxul <sup>®</sup> 1000, Rockbrake <sup>®</sup> , Rockseal <sup>®</sup> , Rockforce <sup>®</sup> , CoatForce <sup>®</sup> , Lapinus <sup>®</sup> , RIF41001, RIF48003, ROCKWOOL <sup>®</sup>

### 推奨用途

用途	: 複合材料における強化材.
----	----------------

### 使用上の制限

なし

### 安全情報シートの供給者の詳細

Lapinus  
ROCKWOOL B.V.  
Industrieweg 15  
6045 JG Roermond  
電話 +31 475 353 555 - F A X +31 475 353  
677 メール ra@lapinus.com

### 緊急連絡電話番号

緊急連絡電話番号	: +31 653368588 (営業時間)
----------	---------------------------

## 2. 危険有害性の要約

### GHS分類

物理化学的危険性	区分外
健康に対する有害性	区分外
環境に対する有害性	区分外
その他危険有害性	
(EC)番号 1272/2008(CLP)に基づく分類	区分外

### GHSラベル要素

絵表示	なし
注意喚起後	なし
危険有害性情報	なし
注意書き	なし

### その他危険有害性

利用可能な追加情報なし

## 3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別	混合物
-------------	-----

## 組成情報

名称	製品の特定	%
アルカリ酸化物及びアルカリ土類酸化物 (Na <sub>2</sub> O+K <sub>2</sub> O+CaO+MgO+BaO)を重量で18%を超えて含有するランダム配向を有する人造ガラス質(ケイ酸塩)繊維 (MMVF)	(CAS 番号) 65997-17-3 (EC 番号) 926-099-9 (EC インデックス番号) 650-016-00-2 (REACH-番号) 01-2119472313-44	98 - 100

ガラスは化審法における官報公示整理番号に該当する化学物質ではない。

## 4. 応急措置

## 応急措置の記述

- 概要 : ばく露による症状が残る場合には、医師の手当てを受けること
- 吸入した場合 : 新鮮な空気の当たる場所に移すこと
- 皮膚に付着した場合 : 冷たい水で皮膚を洗うこと。皮膚に接触した場合には、汚染された全ての衣服を直ちに脱ぎ、直ちに石けんと大量の水で洗うこと
- 眼に入った場合 : 直ちに水で少なくとも15分十分に洗うこと。医師の手当てを受けること。
- 飲み込んだ場合 : 直ちに口を水ですすぎ、大量の水を飲ませること

## 急性症状及び遅発性症状

- 眼に入った場合の症状/けが : 直接接触により刺激性症状を引き起こすかもしれない

## 医師に対する特別な注意

- 症状に応じて対処すること。

## 5. 火災時の措置

## 消火剤

- 適切な消火剤 : 水噴霧、二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)、化学粉末消火剤、泡
- 換気の : 情報なし

## 火災時の特有の危険有害性

- 火災危険有害性 : 本製品は、それ自体は燃焼しない
- 爆発危険有害性 : 爆発性ではない。

## 火災を行う者の保護

- 注意事項 : 火災に近接する場合には、自給式呼吸器を使用すること。適切な保護具を着用すること。
- 保護具 : 自給式呼吸器を使用すること。推奨される個人用保護具を着用すること。

## 6. 漏出時の措置

## 注意事項、個人用保護具、緊急時の措置

- 一般的措置 : 十分な換気を確保すること。不十分な換気の場合には適切な呼吸用保護具を着用すること

## 非緊急時に対応を行う者の措置

- 保護具 : 産業用での使用の場合は最低限の保護としてサイドシールド付きの安全メガネが推奨される。項目8を参照。

## 緊急時対応者の措置

- 保護具 : 不十分な換気の場合には呼吸用保護具を着用すること。項目8参照。
- 緊急時の措置 : 可能なら漏えいを止めること。避難し、近づかないこと。

## 環境に対する注意事項

- 下水道や側溝に流入しないように堤防や吸収剤で漏えいを防止すること。項目8及び13参照。

## 封じ込め及び浄化の方法

### 浄化の方法

- ： 静電気が発生するので、塵を集めるのに乾いたブラシを使用しないこと。掃く前に水で塵を濡らすこと。漏えいした物質は、乾燥した物質からの粉塵の形成を避けるため直ちに除去すること。粉塵の発生を防ぐため浄化の方法を取ること(真空湿式)。

## 他の項目の参照

項目 8 及び 13 参照。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

### 安全取扱い注意事項

#### 安全取扱い注意事項

- ： 不必要な製品の取り扱いを避けるため使用する場所で開梱すること。作業場を清潔に保つこと。適切に廃棄物を収集し、容器を表示し、地方自治体等の規制に従って廃棄すること。掃く前に塵を水で濡らすこと。塵は元の場所において直接排出されること。

### 接触回避を含む安全な保管条件

#### 保管条件

- ： 元の容器に保管すること。乾燥し涼しく良く排気される場所にしっかりと閉じて保管すること。

### 特定の最終用途

利用可能な追加情報なし。

## 8. ばく露防止及び保護措置

### 管理パラメーター

職場ばく露限界値(WEL)は超えてはならない。(総吸入、8-時間時間平均)。吸入繊維の粉塵濃度は、通常の作業条件では  $\text{cm}^3$  あたり 0.1 を超えないよう保つこと。

### ばく露管理

#### 個人用保護具

- ： 手袋。不十分な換気条件：呼吸用保護具、保護衣、安全メガネを着用すること。



#### 手の保護具

- ： EN374 規格と同等の手袋を着用すること。

#### 眼の保護具

- ： 密着性の高い安全ゴーグル。DIN EN 166

#### 皮膚、身体の保護具

- ： 長袖の作業衣を着用すること。

#### 呼吸用保護具

- ： 不十分な換気の場合、適切な呼吸用保護具を着用すること。

#### その他の情報

- ： 良好な産業衛生のもと、安全な方法で取り扱うこと。

## 9. 物理的及び化学的性質

### 基本的な物理及び化学的性質の情報

#### 物理的状态

- ： 固体

#### 外観

- ： 繊維

#### 色

- ： 灰色、緑色、白色系

#### 臭い

- ： 利用可能なデータなし

#### 臭気閾値

- ： 利用可能なデータなし

#### pH

- ： 7 - 8

#### 相対蒸発速度 (酢酸ブチル=1)

- ： 利用可能なデータなし

#### 融点

- ：  $> 1000\text{ }^{\circ}\text{C}$

#### 凝固点

- ： 利用可能なデータなし

#### 沸点

- ： 利用可能なデータなし

引火点	: 適用できない
自然発火温度	: 利用可能なデータなし
分解温度	: 利用可能なデータなし
燃焼性 (固体, ガス)	: 燃焼性は無い
蒸気圧	: 利用可能なデータなし
相対蒸気密度 20 °C	: 利用可能なデータなし
比重	: 2.75 g/cm <sup>3</sup>
溶解性	: 水: 水に不溶
Log Pow	: 利用可能なデータなし
粘度、動的	: 利用可能なデータなし
粘度、ダイナミック	: 利用可能なデータなし
爆発性	: 爆発性ではない
酸化性	: 酸化性ではない
爆発限界	: 爆発性ではない。

## その他情報

利用可能な追加情報なし

## 10. 安定性及び反応性

### 反応性

危険有害な重合は起こらない。

### 化学的安定性

通常の条件では安定

### 危険有害な反応の可能性

通常の条件では無い

### 避けるべき条件

知られていない

### 混触危険物質

強酸、強塩基

### 危険有害な分解生成物

一酸化炭素、二酸化炭素 (CO<sub>2</sub>)

## 11. 有害性情報

### 毒性学的影響に関する情報

急性毒性	: 分類できない又は区分外
刺激性	: 分類できない又は区分外
	pH: 7 - 8
腐食性	: 分類できない又は区分外
	pH: 7 - 8
感作性	: 分類できない又は区分外
反復投与毒性	: 分類できない又は区分外
発がん性	: 分類できない又は区分外
変異原性	: 分類できない又は区分外
生殖毒性	: 分類できない又は区分外

## 12. 環境影響情報

### 生体毒性

生態 - 一般 : 本製品は危険有害ではない。

## 残留性・分解性

Note Q に適合する鉱物繊維	
残留性・分解性	製品は易分解性ではない。

## 生体蓄積の可能性

Note Q に適合する鉱物繊維	
生体蓄積の可能性	潜在的に低い生体蓄積

## 土壌中への移動

Note Q に適合する鉱物繊維	
生体 - 土壌	利用可能な情報なし

## PBT 及び vPvB アセスメントの結果

Note Q に適合する鉱物繊維	
PBT アセスメントの結果	本物質は PBT/vPvB クライテリアの要件を満たさない。

## 他の有害影響

他の有害影響 : 利用可能な情報なし

## 13. 廃棄上の注意

## 廃棄物の処理方法

廃棄物の処分方法 : 廃棄に関する地方自治体等の規制に従うこと。

追加情報 : 空の容器は、地方自治体等の規制に従ってリサイクル、回収、又は廃棄されるべきとする。

## 14. 輸送上の注意

ADR / RID / ADNR / IMDG / ICAO / IATA に従う。

## UN 番号 UN number

輸送規制の観点で危険貨物ではない。

## UN proper shipping name (UN 品名)

該当なし

## 輸送等級

該当なし

## 包装グループ

該当なし

## 環境有害性

他の情報 : 該当なし

## 特別規定

特別な輸送規定 : 該当なし

## 陸上輸送

利用可能な追加情報なし

**海上輸送**

利用可能な追加情報なし

**航空輸送**

利用可能な追加情報なし

**MARPOL73/78 条約の附属書Ⅱ及び IBC コードに基づくバルク輸送**

IBC コード : 該当なし

**15. 適用法令****適用法令**

労働安全衛生法

名称等を通知すべき危険物及び有害物（法第57条の2、施行令第18条の2別表第9）【314 人造鉱物繊維】

**EU 規制**

REACH 付属書XVII制限に該当しない。

REACH の規制候補物質に含まれていない。

**その他の国の規制**

利用できる追加情報なし。

**化学品安全性アセスメント**

利用できる追加情報なし。

**16. その他の情報**

変更の記録 :

EC 番号は変更された。

主要なデータの情報源

略語と頭字語

: SDS - 安全データシート

: ACGIH (産業衛生専門家会議 American Conference of Government Industrial Hygienists). ASTM - 材料試験学会 American Society for Testing and Materials . CAS - ケミカル・アブストラクツ・サービス Chemical Abstracts Service. CAS (Chemical Abstracts Service) number.CAS(ケミカル・アブストラクツ・サービス)番号 CLP - 分類、表示及び包装 Classification, Labelling and Packaging. CSR - 化学品安全性報告書 Chemical Safety Report. DIN - ドイツ工業規格 Deutsches Institut für Normung eV (German Institute for Standardization). EC - 欧州委員会 European Community. EEC - 欧州経済共同体 European Economic Community. FRP: 繊維強化プラスチック fiberglass-reinforced plastics. GESTIS: ドイツ有害物質データベース Gefahrstoffdaten banken (Database on hazardous substances). GHS - 化学品の分類及び標示に関する世界調和システム Globally Harmonised System. GPPS: general purpose polystyrenes. HCS - 危険有害性周知基準 Hazard Communication Standard. HIPS: 高耐衝撃性ポリスチレン high impact polystyrenes. HMIS - 危険有害性情報システム Hazardous Materials Identification System. IARC 国際がん研究機関(International Agency for Research on Cancer). MSDS - 物質安全性データシート Material Safety Data Sheet. OSHA - 労働安全衛生局 Occupational Safety and Health Administration. 陸上輸送 Overland transport (ADR). PVA ポリビニルアルコール(Polyvinyl alcohol). PVC ポリ塩化ビニル(Polyvinyl chloride). REACH - 化学品の登録、評価、認可及び制限 Registration, Evaluation, Authorisation and Restriction of Chemicals. UP: 不飽和ポリエステル Unsaturated polyester. SDS - 安全データシート Safety Data Sheet . VCI - 気化性防錆剤 volatile corrosion inhibitor. VE: エポキシビニルエステル epoxy vinyl ester.

その他情報	: Note Q に適合する鉱物繊維に該当する CAS 番号は 65997-17-3 である。この CAS 番号では、世界中の多くの国の化学物質登録システムで繊維として登録される。しかしながらこの CAS 番号の範囲は非常に広い。生体内溶解性繊維の特定の化学物質としては、CAS 番号 287922-11-6 と 1010446-98-6 が登録されているが、CAS 登録システムでのみ確認される。
参考文献	ガラス繊維の健康安全性に関する現状について(硝子繊維協会、平成 20 年 8 月 1 日改訂版)P7 (注記 1)Note Q : 生体内溶解性繊維判定基準 (注記 2)欧州では、生体内溶解性の高いものはより安全であるという科学的見解が広く認識され、Note Q の免除規定に適合する製品は発がん性の分類を免れるとされている。

この情報は私共の現在の知識の基づいて健康、安全及び環境の規定の適合性に関してのみ記述するように意図している。従って、製品のいかなる特性も保証すると解釈されるべきではない。

**安全情報シートの終了**